

第三者評価結果表

施設名 高嶺園

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

【 評価項目 】		a	b	c	Na
1 理念・基本方針					
(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。					
1	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	○			
<p>(特に評価が高い点) ●施設長は、法人の理念である「無限真愛」とは「職員が優しいのが絶対条件である」ということを職員に熱く語り、日々の実践の中で出来ているかどうかを常に注視し、助言しています。職員もこのことを自覚しており、現場実践で理念に忠実であることを職員同士で確認し合っていることが聞き取りなどで確認できました。</p> <p>(改善が求められる点) ●職員が理念に忠実であると伝わる工夫があることが利用者に伝わる工夫をすると、職員はより日々の業務へのモチベーションを上げていけるのではないかと思います。</p>					
2 経営状況の把握					
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。					
2	1 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	○			
3	2 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。		○		
<p>(特に評価が高い点) ●施設長をはじめ職員は、全国の研修会に積極的に参加し、社会福祉事業の動向を収集していることが聞き取りで確認できました。 ●改善すべきことは、次年度にすぐ実施されていることを書面等で確認しました。改善に対する実行力、スピード感が高く評価されます。</p> <p>(改善が求められる点) ●課題の解決や改善に向けて主任会議で報告していますが、そこに至るまでのプロセスやフィードバック内容が明文化され、職員に具体的に周知されるようになると、より弾力的な取組となると思われます。</p>					
3 事業計画の策定					
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。					
4	1 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		○		
5	2 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		○		
(2) 事業計画が適切に策定されている。					
6	1 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		○		
7	2 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。		○		
<p>(特に評価が高い点) ●施設長をはじめ幹部職員は、段階的に人材を育成し、組織的に事業展開が行えるような明確なビジョンを持っています。</p> <p>(改善が求められる点) ●中・長期計画が策定されていません。施設長は思いや構想を明確にしていますが、その内容を計画として明文化することを期待します。そうすることで、より分かりやすく職員に周知ができると思われます。</p>					

【 評価項目 】				a	b	c	Na
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組							
(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。							
8	1	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		○			
9	2	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		○			
<p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●委員会の種類が多く、活動も充実しています。各委員会で細部にわたりサービス向上のための分析と提案がなされ、改善提案委員会で実行されています。 ●各委員会や班ごとで業務の見直し、改善について検討され、書面にて改善の提言がなされており、組織的にサービスの質の向上に努めています。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特にありません。 							

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ							
(1) 管理者の責任が明確にされている。							
10	1	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。		○			
11	2	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		○			
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。							
12	1	福祉サービスの質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。		○			
13	2	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。		○			
<p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設長は最新の情報を得るために、積極的に全国の研修に参加して情報を収集しており、その中で実行すべきことはすぐに決断実行しています。また、サービス向上に関する委員会からの提案についても、即実行するよう心掛けています。また、地域の情報も、自治会と連携して収集していることが聞き取りで確認できました。 ●施設長は組織的にサービス展開ができるよう、職員に対しては時に伝え、時に待ちながら、人材育成にも強いリーダーシップを発揮しています。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設長は熱い思いを持っていますが、その思いを事業計画に盛り込み、職員や利用者がいつでも確認できるようにすることが求められます。 							

2 福祉人材の確保・養成							
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。							
14	1	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。			○		
15	2	総合的な人事管理が行われている。		○			
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。							
16	1	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。		○			

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。					
17	1 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	○			
18	2 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		○		
19	3 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	○			
(4) 実習生の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。					
20	1 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	○			
<p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新人職員から幹部職員まで、それぞれに合わせた研修や人事考課が行われており、組織的に人材育成に努めています。 ●人事考課には個々の職員の目標や希望が明記されており、職員も積極的に研修に参加しています。また、主任サブリーダー制度を導入することで新人育成を試み、さらに任用替え制度により職員の育成を図っています。職員も「優しいのが絶対条件である」との理念に応えるため、業務に励んでいることが聞き取りから確認できました。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●職員一人ひとりに育成計画や研修計画を策定され、人事考課との整合性を図ることが期待されます。 					

3 運営の透明性の確保					
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。					
21	1 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		○		
22	2 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	○			
<p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公認会計士による外部監査が実施されていることは高く評価されます。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ホームページは現在作成中とのことですが、ホームページは貴重な情報発信の手段の一つです。早急に完成させ、積極的に情報を公開することが求められます。 					

4 地域との交流、地域貢献					
(1) 地域との関係が適切に確保されている。					
23	1 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	○			
24	2 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		○		
(2) 関係機関との連携が確保されている。					
25	1 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		○		

【 評価項目 】				a	b	c	Na
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。							
26	1	福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。		○			
27	2	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。			○		
<p>(特に評価が高い点)</p> <p>●施設の行事はもちろん、福祉避難所に指定されていることから、防災訓練の実施などを通して地域と積極的に交流しています。施設長は地域に目を向け、自治会長と情報交換しています。また、宇部市のボランティア連絡協議会にも参加し、地域に向けた福祉活動に取り組み始めていることが聞き取りで確認できました。</p> <p>●実際に福祉避難所として機能できるよう、屋外に障害者用のトイレを設置しています。また、障害者用トイレは防災訓練後も利用出来るように整備されており、施設機能の還元にも積極的に取り組んでいます。</p> <p>(改善が求められる点)</p> <p>●ボランティア受け入れに関するマニュアルはありますが非常に古く、マニュアルの改訂が求められます。平成28年に改正社会福祉法が施行され、宇部市の社会福祉法人地域公益活動推進協議会も設立に向けて動き出したとのことです。施設長は積極的ですが、地域が動かないとのことです。歴史ある高嶺会の資源を地域貢献のため存分に発揮することを期待します。</p>							

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス							
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。							
28	1	利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。		○			
29	2	利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。		○			
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。							
30	1	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。			○		
31	2	福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。		○			
32	3	福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。		○			
(3) 利用者満足の向上に努めている。							
33	1	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。		○			
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。							
34	1	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		○			
35	2	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。		○			
36	3	利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		○			

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。					
37	1 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	○			
38	2 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	○			
39	3 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	○			
<p>(特に評価が高い点) ●利用者の高齢化により、介護が過重になっているとのことですが、介護リフト等の整備で利用者の安全に取り組んでいることは高く評価されます。 ●災害時の福祉拠点として、屋外の障害者用トイレや太陽光発電の設置、井戸を掘るなどハード面の整備がなされています。</p> <p>(改善が求められる点) ●パンフレットは利用者に分かりやすい内容にするとともに、施設の機能を地域に広く知ってもらうため、公共施設等にも設置することが望まれます。</p>					

2 福祉サービスの質の確保					
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。					
40	1 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	○			
41	2 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○			
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。					
42	1 アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	○			
43	2 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	○			
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。					
44	1 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	○			
45	2 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	○			
<p>(特に評価が高い点) ●介護に注意を要する利用者が多く、日々の状態を瞬時に共有する必要性が高いことから、タブレット端末を導入し、全職員が情報共有できるように努めていることは高く評価されます。 ●タブレット端末は各部署に設置されており、その場で効率的に記録ができるように工夫していることは高く評価されます。</p> <p>(改善が求められる点) ●特にありません。</p>					